



**SAH**  
Student Agency High School

# 前南進路だより

R7・第4号 7月18日発行

## 1、1学期中の主な進路行事について

### (1) 大森学長先生による講演



5月13日(火)6限・総合の時間に、共愛学園前橋国際大学の大森昭生学長先生をお招きして、『答えがないから面白い～探究の意義と方法とAgencyと～』という演題で、1・2年生を対象に講演をしていただきました。

探究の意義・探究と研究の違い・研究のプロセス(論文・プレゼンができるまで)などについて、分かりやすく説明をしていただきました。特に、探究の目的は「**予測困難な時代の中で求められるチカラ**」であり、総合的な探究の時間の概要をふまつつ、「**極端に言えば、たとえ研究自体は失敗に終わったとしても、そのプロセスを通して、求められる力が身についたのなら成功。だから、とことんやってみよう!!**」とおっしゃっていました。また、大学における実際の研究の様子も紹介していただき、とても参考になりました。そこで、1年生の感想(一部抜粋)を紹介します。

～Kさん～

今回の講演を通して、研究・探究は思っていたよりも難しくないなと感じた。日々の気づきや発見を解決するために色々な方法で結論を出すのが楽しそう、やってみたいと思った。現代、これからの未来に必要なことを、探究を通して学んでいきたい。

～Kさん～

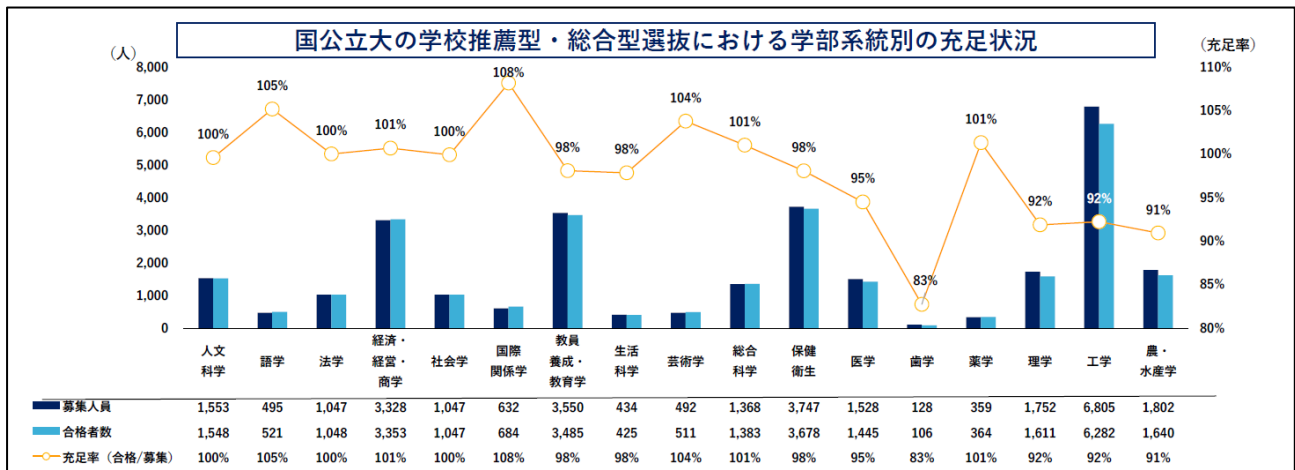
大森先生の貴重なお話をきいて、これからの社会での学力の三大要素の大切さを知ることが出来ました。Agencyを土台にした思いやりなどは、育てるものではなく、もともと自分の中にあるものだと知らなかったのが正直驚きました。

～Sさん～

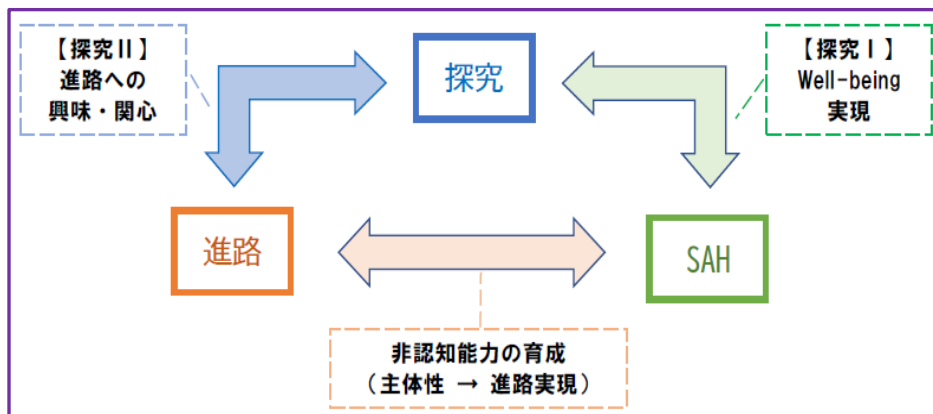
これからの探究活動ですべきことが、わかったような気がしました。探究活動のみならず、前南で身につけなければいけない力、文理選択や大学のことなど、様々なことを知ることが出来ました。探究活動を通して、SAH・忍耐力・困難を乗り越える力など、まだまだ自分に足りない力を身につけ、進路選択に役立てたいと思いました。

～Nさん～

「探究」と「研究」の違いを全く知らずにいたけれど、お話を聞いてそれぞれの特徴、意味を知ることができました。探究をこれから行っていくにあたり、結論や答えが見つからないということもあるかもしれないけれど、それを楽しみながら力をつけていきたいと思います。

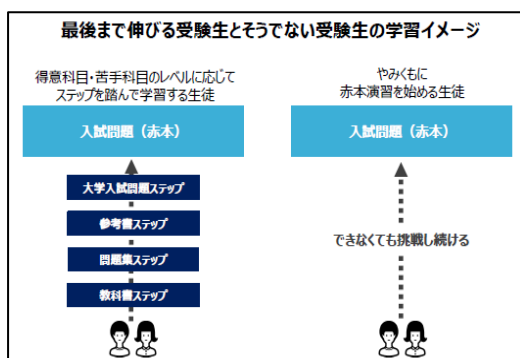
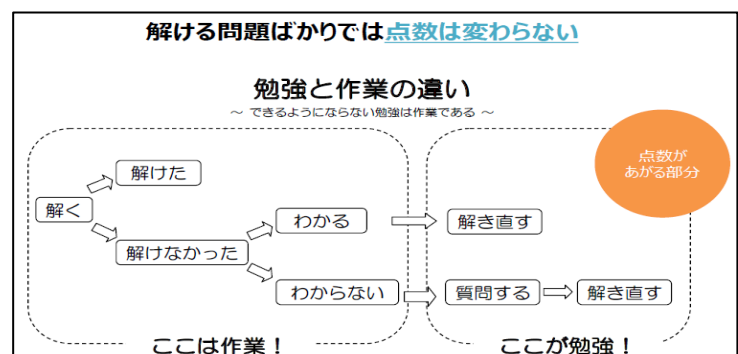


上図の『国公立大の学校推薦型・総合型選抜における学部系統別の充足状況』（ベネッセ資料）を見ると、歯学、理学、工学、農・水産学系統などでは、募集人員に対し合格者数が少なかったようです（充足率 100% 以下）。特に、募集人員の多い【工学系統】では、学校推薦型・総合型選抜の募集人員が 6,805 人に対し、合格者数は 6,282 人とどまっており、その差の約 500 人は一般選抜の募集人員などに充当されたと考えられます。これらの系統では、出願し、大学の基準を満たせば合格できていた枠が残っていた可能性があります。『SAH Journal Vol.107』にも掲載されているように、『探究活動』を通じて課題



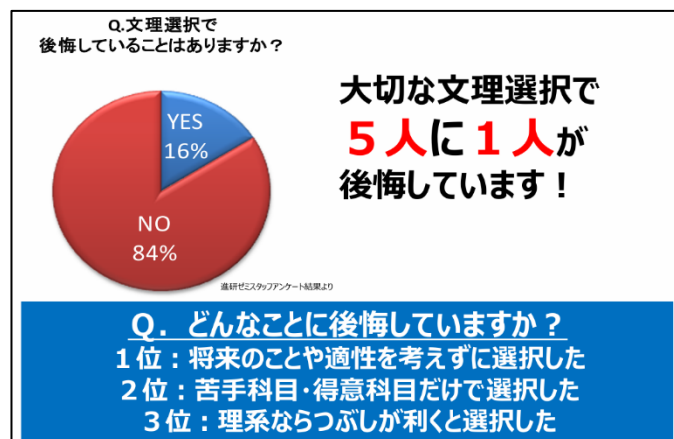
解決力などの非認知能力の育成、学問への興味・関心の向上により、適正な進路選択、志望校にチャレンジできる「機会」となります。2 学期から、各班に分かれ、本格的な探究活動が始まります。積極的かつ有意義な活動になることを願っています。

## (2) 進路講演会（1・3 年） ※ ベネッセ資料参照



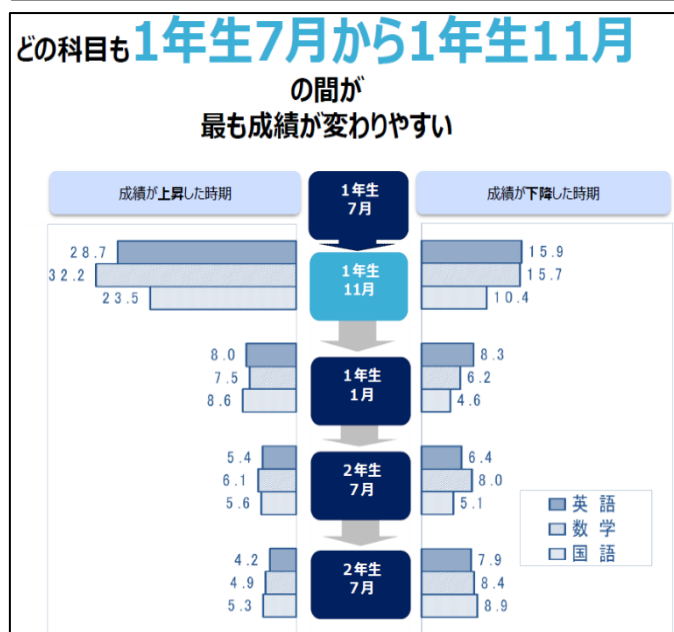
6 月 10 日（火）の 6 限に、ベネッセコーポレーション 関東支社の増子育穂（ましこ いくほ）様をお招きして、「希望進路実現に向けて」～近年の入試について動向整理～ という演題で、3 年生に講演をしていただきました。入試方式別の特徴、近年の入試環境（受験人口の減少・国公立大と私立大の入試概況）、第一志望合格に向けて（模試の活用・受験する大学を決める際の受験科目の増減による影響など）について、分かりやすく説明をしていただきました。

特に、【勉強と作業の違い】を意識し、**わかる問題→解き直す、わからない問題→質問する→解き直す**といった**学習サイクル**の必要性を訴えていました。入試本番において、**わかる(＝正解できる)問題をケアレスミスが原因で不正解**となり志望校に合格出来ないことだけは、是が非でも避けたいものです。そして、【最後まで伸びる受験生とそうでない受験生の学習イメージ】についても、【**やみくもに赤本演習を始める生徒**】を例に、学習到達の状況をふまえながら、【**レベルに応じてステップを踏んで学習をする生徒**】を目指して欲しいとのことで、ぜひ夏休みの学習の参考にしてください。

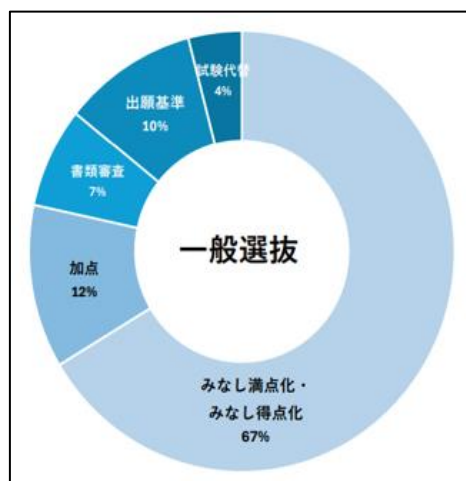


7月1日(火)の6限に、増子様に再度来校していただき、「**高校生の学習**」を身につけるために～模試を有効活用しよう～という演題で、1年生に講演をしていただきました。2年次の文理選択の調査が行われている中で、適切な文理選択をするために、オープンキャンパスへの参加を通じて、志望校(目標)を定め、学習に励んで欲しいとのことでした。そして、**先日実施した模試(7月)から次回の模試(11月)の間**が最も成績が変わりやすいとのことです。

そのため、1学期に定着しつつある学習習慣を夏休み中に忘れてしまったら、非常に残念なことです。まずは、クラッシーの学習時間調査の入力を忘れずに行い、下図の学力向上のポイントを意識して、学習に取り組んでみましょう。



## 2、実用英語技能検定(英検)について



外部検定利用入試において、左図のように一般選抜では【みなし満点化・みなし得点化】が最も多いようです。

例：成城大学・外部検定試験利用

| 共通テスト『英語』換算率 | 英検 CSE スコア  |
|--------------|-------------|
| 100%         | 2,450 以上    |
| 90%          | 2,300～2,449 |
| 80%          | 2,125～2,299 |
| 70%          | 1,950～2,124 |

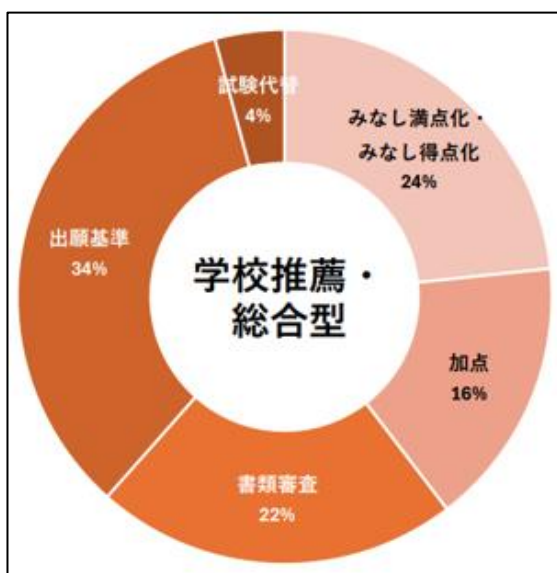
※ 詳細は、一般選抜募集要項で確認してください。

今年度から成城大学で実施される、大学入学共通テスト利用選抜（B方式）、国公立大学併願型大学入学共通テスト利用選抜（N方式）の2方式で英語外部検定試験を利用できるようになります。利用を申請した場合、大学入学共通テストの「外国語」の受験は任意となります。大学入学共通テストを受験した場合は、「外国語」の換算点と英語外部検定試験の成績の換算点のいずれか高い点数のもので合否を判定するようです。（詳細は、一般選抜募集要項を確認してください）

その際に注意すべき点は、英検 CSE スコアの確認が必要となります。下図を見ると、2級の合格ラインは1980 となり、準1級は2304 となります。仮に、換算率 100%の英検 CSE スコア 2450 を目指す場合には、2級で満点近い得点をとるか、準1級を受験してスコアを得るなどの必要があります。各級を受験し合格することも大切ですが、不合格時においても**英検 CSE スコアを確認することで、入試に活用できる可能性もあります。**

#### ● 4技能総合CEFRの算出範囲

| CEFR | 英検 CSE スコア                               | 実用英語技能検定<br>各級の合格スコア <span>XXXXXX</span> |                      |      |                                   |        |                                       |
|------|------------------------------------------|------------------------------------------|----------------------|------|-----------------------------------|--------|---------------------------------------|
| C2   | 4000<br> <br>3300                        | C1 扱い                                    |                      |      |                                   |        |                                       |
| C1   | 3299<br> <br>2600                        | B2 扱い                                    |                      |      |                                   |        |                                       |
| B2   | 2599<br> <br>2300                        | 2400                                     |                      | 2500 | 2600<br>B1 扱い                     | 2630   | 3400<br>(3299)<br><b>1級</b><br>(2304) |
| B1   | 2299<br> <br>1950                        | 2200                                     | A2 扱い                | 1980 | (2299)<br><b>2級</b>               | 2304   | (2599)<br><b>準1級</b><br>(1980)        |
| A2   | 1949<br> <br>1700                        | A1 扱い                                    | (1949)<br><b>準2級</b> | 1829 | (1949)<br><b>準2級プラス</b><br>(1550) | (1728) | CEFR 算出外                              |
| A1   | 1699<br> <br>1400<br> <br>1399<br> <br>0 | (1699)<br><b>3級</b><br>(1400)            | (1400)<br>CEFR 算出外   | 0    | CEFR 算出外                          | 0      | CEFR 算出外                              |



学校推薦・総合型選抜においては、【出願基準】の活用方式が最も多いようです。例えば、高崎経済大学・経済学部における学校推薦型選抜の「英語重視推薦」の出願資格は、今年度から英検2級以上に変更となります（変更前は準2級）。また、準1級を取得している場合には50点の加点となります。

また、英検を利用する場合には、**有効期限を定めている大学**があります。「**2年以内**」と定めている大学が多く、出願の2年以内に取得した英検であれば、ほとんどの大学で利用できるよう（変更する場合があります）ので、必ず募集要項での確認をお願いします。特に、学校推薦型・総合型選抜は出願期間が早いため、しっかり計画を立てて受験することが大切です。